

臼杵市 施策評価シート
(令和4年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	部落差別解消推進・人権啓発課	齋藤 正雄	3170

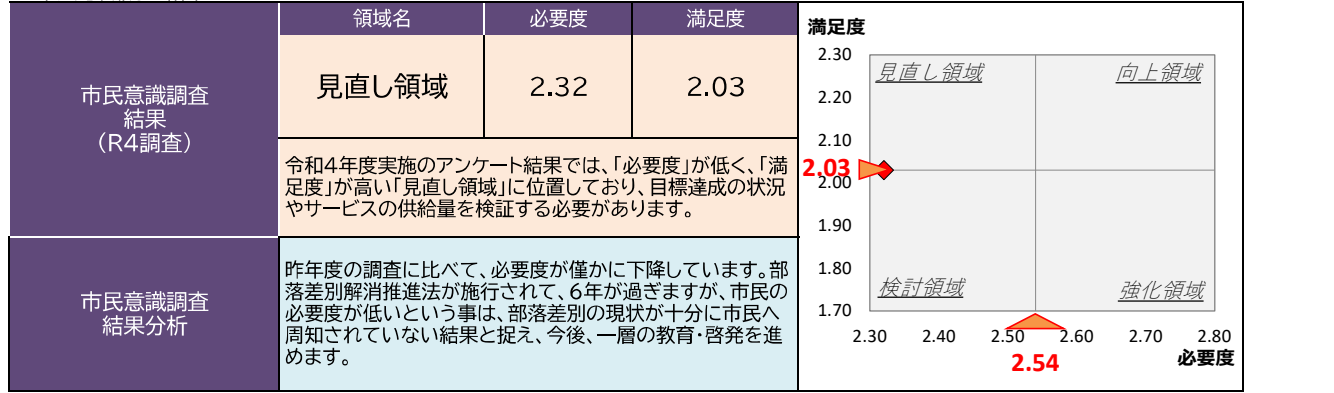
コード	V-16-35	施策名	同和問題(部落差別問題)に対する正しい理解
施策の方針	一人ひとりの人権が尊重されるまちをつくる		
まちづくりの方針	磨き輝き続ける市民がつながり、臼杵っこが育つまち(学び)		
5年後のめざす姿	市民一人ひとりが同和問題(部落差別問題)に関心を持ち、正しい理解により差別を許さない意識を広めていくことで部落差別の解消をめざします。 誰もが平等に生きる権利を保障するために、部落差別解消を目的とし、不当な差別を許さない社会を築くため、学習の機会を確保し、確かな知識と実践力を身につけることのできる教育・啓発及び指導者の充実を推進します。 学校においても、「部落差別の解消の推進に関する法律」の趣旨を理解し、必要な教育及び啓発に努めます。		
施策の内容	誰もが平等に生きる権利を保障するために、部落差別解消を目的とし不当な差別を許さない社会を築くため学習の機会を確保します。 差別をなくす運動月間における講演会の市民参加や企業・地域を対象にした人権・部落差別問題の研修会等を充実していきます。		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
登録型本人通知制度の事前登録者数【累計】	市民課及び市民生活推進課の登録台帳	目標	人	3,700	4,000	4,300	4,600	5,000		
		実績		3,495	3,693	3,838	3,977			
		達成率	%	99.8%	96.0%	92.5%				
企業・団体で行う研修会の実施回数	部落差別解消推進・人権啓発課事業実績	目標	回	50	55	60	65	66		
		実績		48	12	18	21			
		達成率	%	24.0%	32.7%	35.0%				
同和問題(部落差別問題)についての授業を実施した小・中学校の割合	市内の小・中学校の中で、部落差別問題についての授業を実施した学校の割合	目標	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		実績		100.0	100.0	100.0	100.0			
		達成率	%	100.0%	100.0%	100.0%				
新たに臼杵市に転入または、管理職に昇任した教員のフィールドワーク参加者率	新たに臼杵市に転入または、管理職に昇任した教員のうち、フィールドワークに参加した者の割合	目標	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		実績		100.0	100.0	100.0	100.0			
		達成率	%	100.0%	100.0%	100.0%				
		目標								
		実績								
		達成率	%							
		目標								
		実績								
		達成率	%							

指標の分析
昨年に続き、新型コロナウイルス感染症の影響で企業などへの直接の働きかけができず、企業・地域等の研修会は、減少しています。登録型本人通知制度の登録数は目標を超えることができませんでした。小・中学校ではすべての学校が部落差別問題学習を扱うことができました。教育委員会と連携して、転任教諭や管理職に昇任した教員のフィールドワーク参加率は、目標である100%を達成することができました。小・中学校、教員の取り組みは、毎年100%達成を目指し取り組みを継続しています。

<市民意識調査結果>



<次年度以降の課題>

令和5年度以降の課題
部落差別解消推進法が施行されて、6年が過ぎますが、結婚差別やインターネット上の差別がまだに続いています。臼杵市ではインターネットのモニタリングを行い、状況の把握に努めています。2019年度に行った「人権・同和問題に関する市民意識調査」では、58%の人が「人権・同和問題について今後も学習したい。」との結果が出ているため、今後も教育啓発に力を入れていきます。新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなるため、大規模講演会等実施など、これまで制限があった啓発手段についても、実施方法を十分に検討した上で実施することで、積極的に教育・啓発を進めていきます。

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R3年度実績	R4年度実績	令和5年度年度見込み			
1 人権・同和施策の企画立案	部落差別問題に関する講演会・研修会、各種啓発事業	部落差別解消推進・人権啓発課	○	4,646	4,597	7,814	-	○	
2 隣保館運営費事業	地域生活相談センター及び地区相談・地区研修・啓発事業	部落差別解消推進・人権啓発課	○	1,901	2,267	3,689	-		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				6,547	6,864	11,503			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	部落差別の解消の推進に関する法律が施行されて6年を経過していますが、インターネット上での書き込みなどまだまだ部落差別は解消していない状況です。2019年度に行った「人権・同和問題に関する市民意識調査」では58%の市民が「人権・同和問題について今後も学習したい」と答えています。新型コロナウイルス感染症の取り扱いが今後変化していくため、より積極的に啓発を進めていきます。	課長評価	最重点施策であり、来年度強化する
------	--	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

※以降の評価は、令和3年度～令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度	内部評価
令和5年度実施予定	「同和問題に対する正しい理解」は、市民からも今後も研修が必要な事柄であると評価され、非常に大切な取り組みであるため、より多くの企業・地域などへの働きかけを積極的に取り組みます。 最重点施策であり、来年度強化する

<臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
強化	「同和問題に対する正しい理解」を進めるため、研修などを実施していくことは、非常に重要な取り組みであると評価しました。コロナ禍で経験したりリモート開催などの方法も取り入れながら、より多くの方が参加しやすい環境づくりに努めてほしい。

<臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

「同和問題に対する正しい理解」を進めるために、より多くの方が研修や講演会などに参加できるよう、企業や地域などに積極的に働きかけ、また、参加しやすい環境づくりに取り組んでいきます。